

栗本鉄工所

もみ殻からシリカ抽出

阪大などと技術開発 省エネタイヤに活用

栗本鉄工所は大阪大学 シリカ(二酸化ケイ素) などと共同で、もみ殻か を取り出す技術を開発し た。このほど全国農業協 同組合連合会(全農)な どと量産化に向けた実証 設備を建設、二〇一〇年 度の事業化を目指す。原 料の大半を輸入に頼るシ

術で安定供給を目指す。 実証設備として滋賀県 に一日十キロのもみ殻を 処理できる装置を稼働さ せた。栗本鉄工所、阪大、 全農のほかプリント基板 を製造する昭和KDE (東京・渋谷)も運営に 参加する。〇九年度まで に量産技術を確立し、新 潟県や東北地方など稲作 の盛んな地域に量産設備

を建設する計画。 新技術は、もみ殻をク エン酸やシュウ酸などに 浸し、七氏六百度以上で 焼却、純度九九・五%の シリカを取り出す。実験 では、一キロのもみ殻か ら百五十一・二百キロのシリ カを抽出できた。

高純度シリカはコンク リートやプラスチックの 補強剤などにも使われて いる。 高純度シリカの原料と なるケイ砂やケイ石はほ とんどが輸入だが、河川

の水質悪化が懸念される など、中国などの主要 産出国は採掘規制を強 化、価格が高騰している。